

2005年1月から2025年3月の間に当院において 骨髄穿刺検査をお受けになった患者さんへ

当院では「白血病マウスモデル（ヒト化マウス）の作成とヒト白血病幹細胞の同定、及び幹細胞特異的分子標的の探索」を実施しております。この研究は、理化学研究所横浜研究所 生命医科学研究センター・ヒト疾患モデル研究チームが主体となって研究を進めており、当教室が共同研究機関として参加しております。研究内容としては、白血病などの造血器の病気の発生、進行、治療に抵抗を示す場合に、白血病を生存させる因子を解析し、それに対する治療を提案する基礎的な研究です。研究の概要・目的・研究の方法は以下のとおりです。通常、癌の切除手術を受けると癌の「悪さ」を決めるため病理学的な検索が行われます。また同様に骨髄穿刺検査でも病理学的な検索が行われます。通常これらの検体はカルテと同様に一定期間保存しております。我々はこれらの保存されている骨髄検体を用いて研究を行っております。具体的には2005年1月から2025年3月の間に検査を受けられた患者さんの検体を対象としております。対象となる症例は骨髄異形成症候群、慢性骨髄球性白血病、骨髄増殖性疾患、急性白血病、急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、多発性骨髄腫、これらの疾患で骨髄移植を受けた患者さん、非腫瘍性の骨髄の疾患と診断された患者さんです。通常の病理診断を終え保管されている検体のごく一部を使用する研究です。また、この研究を遂行するにあたり、患者さんにしていただくことは全くございません。患者さんにおかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究に関するご質問は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

検体は、空間トランスクリプトーム解析（Xenium）・空間オミックス解析（Phenocycler）のために利用されます。

実際には、東京科学大学病院病理部にて保管されているパラフィンブロック検体を、東京科学大学包括病理にて、包埋や薄切し、未染色標本を作成します。未染標本の作製が完了し次第、パラフィンブロックは東京科学大学病院病理部に返却されます。

未染色標本を、東京大学メディカル情報生命専攻／システム医科学講座／ゲノム制御医学分野の鈴木穰教授チームに郵送し、空間トランスクリプトーム解析（Xenium）・空間オミックス解析（Phenocycler）を委託し、実施します。実施後、画像データと標本が、東京科学大学包括病理返却されます。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

東京科学大学病院病理部にて保管されているパラフィンブロック検体を試料として利用

します。

情報は、年齢、性別、性別、疾患名、治療歴、予後などを利用します。

③ 利用又は提供を開始する予定日

研究承認日より開始します。

④ 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻 鈴木 穰

⑤ 提供する試料・情報の取得の方法

提供する試料は、東京科学大学病院病理部に保管されている、病理ブロックです。

情報は、研究対象者のデータや検体から氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて加工します。

⑥ 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

研究責任者：東京科学大学包括病理学 木脇祐子

石川 文彦 東京科学大学包括病理学/理化学研究所生命医科学研究センター・ヒト疾患モデル研究チーム

⑦ 利用する者の範囲

パラフィンブロックから作成した標本は、東京科学大学病理部、東京科学大学包括病理学、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻の登録した研究者以外は、使用しません。

解析によって得られたPhenocyclerやXenium解析データは、公的データベース(情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター)に匿名化されたデータとして登録され、日本国内の研究機関に所属する研究者だけではなく、製薬企業等の民間企業や外国にある研究機関に所属する研究者からも利用される可能性があります。

⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東京科学大学包括病理学 木脇祐子

石川 文彦 東京科学大学包括病理学

⑨ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究に参加するかどうかは、あなたの自由意思によります。この研究に参加されない場合でも、患者さんには何の不利益もありません。研究への参加を希望されない場合に

は、下記問い合わせ先までご連絡ください。また、研究への参加を希望されない場合でも、今まで通りの適切な治療を受けることができますので、患者さんに特に不利益が生じることはありません。

⑩ ⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法

「本件に関する問合せ先」

東京科学大学包括病理学 木脇祐子

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 電話：03-5803-5175（平日 9:00～17:00）

東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）

「苦情問合せ先」

東京科学大学包括病理学 木脇祐子

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 電話：03-5803-5175（平日 9:00～17:00）

⑪ 外国にある者に対して試料・情報を提供する場合には、指針1(6)イに規定する情報該当しません。